

8年連続で医学部定員増、9,134人に。 27年度に増員される入試方式はこれだ！

筑波大 - 医学類が6人増、川崎医科大 - 医が10人増

旺文社 教育情報センター 平成26年12月

平成27年度で8年連続となる医学部医学科（以下、医学部）の入学定員（以下、定員）の増加について、26年10月までに国立5大学・公立2大学・私立11大学から計65人の申請が出され、10月末に認可された。これで、医学部を設置している79大学の定員の合計は、過去最多の9,134人となった。12月上旬現在、定員増を行った各医学部の具体的な増員内容は全て明らかになっている。ここでは「どの入試方式が何人増えるのか」を一覧にまとめて紹介する。

今回の定員増（31年度までの期限付き）は22～26年度と同様、文部科学省により、①地域医療への従事を条件とした奨学金、選抜枠の設定（地域枠）、②研究医養成（研究医枠）、③歯学部定員振替（歯学部振替枠）、の3つの枠が用意され、各大学はそれぞれの目的に応じて申請、認可を受けている。①は入試の段階で地域枠を設定する大学と、入学してから希望者を募って選考・選抜する大学がある。②③は入試に特別な選抜枠が用意されるわけではなく、いずれかの入試方式にその分の募集人員が増加されることが多い。

今回の定員増では、①が17大学64人増、②が1大学1人増、③は申請がなかった。大学別で最も定員増の規模が大きいのは、国公立が筑波大 - 医学類の6人増、私立が川崎医科大 - 医の10人増だ。

医師不足や大都市圏への偏在などを解消する切り札として期待される「医学部定員増」だが、各都道府県の奨学金増額や、各大学の教員確保・設備拡充は限界に達しつつあるという。特に基礎医学の研究・教育を担う教員の不足は問題視されており、28年度に東北薬科大（東北医科薬科大に名称変更予定）の医学部新設が認可されれば、さらに全国的な教員確保競争の激化が懸念される。

次ページに定員増を行う医学部について、増加数とその内訳（上記①～③）、地域枠の内訳（どの都道府県で何人募集か）を示した。また、認可前に各大学から公表された募集要項には、定員増以前の募集人員が記載されているので、今回の定員増によってどの入試方式や日程の募集人員が変更されたかを太字で示した（「募集要項の段階→定員増の後」で比較）。さらに、定員増を行わない医学部についても、26年と比べて募集人員の変更がある場合は「26年→27年」で示した。すでに出願校を固めている人は多いだろうが、最終決定の参考資料として活用してほしい。ちなみに、国公立大では定員増の7大学中5大学が、増加分を「センター試験を課す地域枠推薦」に振り向けている。

なお、筑波大 - 医学類では、募集要項段階における変更もあわせて26年と比べる必要がある。今回の定員増（6人増）で前期日程を「63人→69人」に増加したが、すでに募集要項の段階で26年に比べ「72人→63人」に減らしていた（地域枠推薦を「13人→22人」に増加）ため、実際には全国対象の地域枠入試を含めても、前期日程は「72人→69人」と3人減った勘定になるので、注意してほしい。

●平成27年度の医学部医学科の定員増と募集人員の変更(26年12月上旬現在)

大学・学部(学科)	27年度の定員増 (編入学含む)	定員増の内訳			備考(①地域枠の内訳/②研究医養成の連携先/③歯学部の定員減/27年入試の募集人員の変更<太字は今回の定員増による変更>、など)
		①地域枠	②研究医養成	③歯学部から振替	
弘前大-医(医)	132人(変更なし)				前期70人→65人(青森県定着枠20人→15人)、セ試課すAO42人→47人(青森県定着枠5人を移行)
秋田大-医(医)	127人→129人	2人			①秋田2人/地域枠推薦(セ試課す)22人→24人(秋田県地域枠17人→19人)
筑波大-医学類	126人→132人	6人			①茨城6人/前期72人→63人→69人(地域枠入試<全国対象>6人を新規実施)、地域枠推薦(セ試免除)13人→22人
山梨大-医(医)	125人(変更なし)				後期80人→90人、セ試課す推薦45人→35人(地域枠I 30人→35人、一般枠と地域枠II<県外生も含む地域医療枠>を廃止)
信州大-医(医)	120人(変更なし)				前期55人→85人、後期45人→15人
岐阜大-医(医)	107人→110人	3人			①岐阜3人/地域枠推薦(セ試課す)25人→28人
岡山大-医(医)	120人(変更なし)				前期103人→100人、国際バカロレアAO(3人)を新規実施
山口大-医(医)	117人(変更なし)				前期52人→60人、後期15人→10人、セ試課す推薦40人→37人
愛媛大-医(医)	112人→115人	3人			①愛媛3人/地域特別枠自己推薦(セ試課す)17人→20人
琉球大-医(医)	112人→117人	5人			①沖縄5人/セ試課す推薦12人→17人(地域枠12人→14人、離島・北部枠3人を新設)
◇名古屋市立大-医	95人→97人	2人			①愛知2人/地域枠推薦(セ試課す)5人→7人
◇大阪市立大-医(医)	92人→95人	3人			①大阪3人/前期92人→95人(大阪府指定医療枠2人→5人)
☆埼玉医科大-医	125人→126人	1人			①埼玉1人/一般前期60人→61人
☆慶應義塾大-医	112人→113人		1人		付属校からの進学者増
☆順天堂大-医	124人→127人	3人			①千葉3人/一般入試、一般・セ試併用、セ試利用入試、国際臨床医・研究医枠入試を合わせて3人増。国際臨床医・研究医枠として、AO入試「研究医養成特別入試」「国際バカロレア入試」(各若干名:セ試利用)を新規実施
☆帝京大-医	117人→118人	1人			①千葉1人/一般入試107人→108人
☆東京医科大-医(医)	*120人(変更なし)				一般入試72人→75人、セ試利用入試20人→15人、山梨県地域枠特別推薦(2人)を新規実施
☆東邦大-医(医)	110人→115人	5人			①千葉5人/一般入試110人→115人(付属校からの進学者を含む)
☆愛知医科大-医	110人→113人	3人			①愛知3人/愛知県地域特別枠入試(セ試利用)5人→8人
☆藤田保健衛生大-医	110人→115人	5人			①愛知5人/一般後期25人→30人(「あいち県未来枠(愛知県地域枠)」5人を新設)
☆大阪医科大-医	110人→112人	2人			①大阪2人/一般前期85人→87人(大阪府地域枠2人増)、研究医枠入試(2人)を新規実施、セ試利用後期5人→3人
☆関西医科大-医	112人→117人	5人			①大阪5人/一般入試(前・後期合計)87人→92人(大阪府地域枠5人を新設)
☆近畿大-医	110人→115人	5人			①静岡5人/一般前期65人→70人(静岡県地域枠5人を新設)
☆兵庫医科大-医	112人(変更なし)				セ試利用後期(3人)を新規実施、一般入試77人→74人
☆川崎医科大-医	110人→120人	10人			①静岡5人・長崎5人/一般入試で、静岡県地域枠入試5人、長崎県地域枠入試5人を新規実施

(注1)◇は公立、☆は私立。定員増は原則として編入学定員を含む。ただし、東京医科大の「定員増」欄の☆は、募集人員を示す。

(注2)備考欄のうち、①は地域枠の連携先の都道府県、②は研究医養成の連携先の大学等を示す。

(注3)備考欄中、27年入試の募集人員の変更については、セ試=センター試験、(以下、国公立大について)セ試免除=センター試験を課さない推薦・AO、セ試課す=センター試験を課す推薦・AO、前期=前期日程、後期=後期日程、の略。